

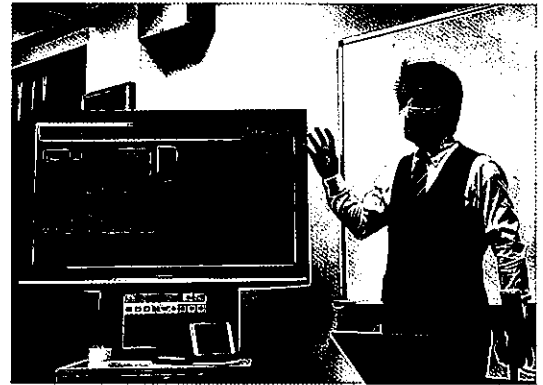
## 令和2年度 第1回家庭教育学級講演会を実施しました

11月18日(水)にICT LINK 株式会社 吉野 真吾氏を講師としてお招きし、第1回家庭教育学級を開催いたしました。

### ● 講師

ICT LINK株式会社 取締役「吉野 真吾」氏

総務省と文部科学省の共同事業である「eネットキャラバン」の認定講師として首都圏を中心とした小中学校や高校から依頼を受け、児童・生徒や保護者、教師等へ安心安全なネットの使い方をご指導する講演活動を行っています。



### ● テーマ

『学校では教えてくれない ネットとスマホの最新事情』  
～トラブルやいじめ、モラルとマナーなど、知らない事をそのままにしない～  
詳しい講演会の内容、様子と出席された方からの感想等は裏面をご覧ください。

## 講演会を終えて

松原小学校でも児童一人に1台のタブレット端末配布が始まりました。子どもたちが新しい学習ツールを安全かつ有効に活用できるよう親のサポートが大切だと思います。講師にご教授いただいたご家庭での【チェックポイント】をご参照のうえ、ぜひご家庭で話し合ってみてください。

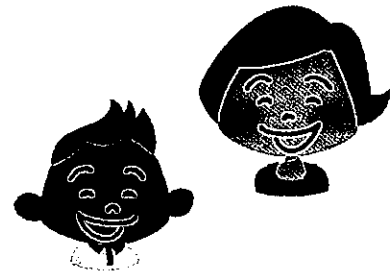
## チェックポイント

### ✓ ネット依存にならないために

- 親もネットやスマホの扱い方に詳しくなる。
- ペアレンタルコントロール機能の活用 (Apple社製品のスクリーンタイム設定)。  
※ 決めた時間以降はネット接続できないなど。
- 家庭でのルールを決める。  
※ 充電はリビングで行う、子ども部屋に持ち込ませない。  
※ サイトや動画の閲覧履歴を親が見られる状態にする。
- ルールを守れなかった時についても決めておく。

### ✓ ネットいじめを防ぐために

- 文字だけのやりとりは誤解が起きやすい (絵文字などを活用)。
- ネットは匿名ではない。
- いじめは犯罪にもなりうる。



### ✓ 個人情報漏えい対策

- 親が子どもたちのスマホやゲーム機の初期設定・アカウント作成をする。
- ロック時の暗証番号・指紋登録を親が把握する。
- SNS (Twitterなど) を利用する場合、「非公開」に設定、複数アカウントを所持させない。
- SNSを使わせないのでなく、使い方を教える必要がある。  
※ 親もSNSを使ってみる (知らないではなく学ぶ姿勢が大切)。親が子どものSNSをフォローする。

## 講演会で学んだこと

ネット上で今起きているトラブルやいじめの事例、ネット社会で身に付けておくべきモラルやマナー、親の関わり方について教えていただきました。

『自動車の運転は、教習所で習って免許を取得する、自動車を「買い与えて終わり」ではない。

スマホも「買い与えて終わり」では危険、使い方を誤ると被害者ではなく加害者になることもある』

という言葉が分かりやすく、とても印象に残りました。

## 講演会当日の様子

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場参加者13名(定員15名)とオンライン参加17名(Zoom)の「ハイブリッド型」で開催しました。講師の方の講演資料は会場モニターに映し出し、Zoomでは画面共有で見ただきながら、約1時間にわたりお話しいただき、事前にいただいた質問にもご回答いただきました。

講演会閉会にあたり、世田谷区教育委員会飯島様と当校の尾上佐智子校長先生からご感想をお話しいただきました。



## 講演会後のアンケート (会場参加の皆様からいただいた感想・ご意見 抜粋)

- 親が詳しくなること、放置してはいけないことが分かった。
- 家庭でのルールを作ることの大切さを学んだ。
- スマホ・SNSを持たせない、使わせないではなく、正しい使い方を教えなければならないことが分かった。  
ただ制限するだけではなく、しっかり教育したいと思った。
- SNSの恐ろしさ(個人情報出し過ぎ問題)を理解できた。
- 子どもが興味を示すことについて親も知識を蓄える努力が必要だと思った。
- 理解してくれるのは友達だけではなく、親に話しても楽しいという状況に思わなくてはと思った。
- 子どもにも必要な情報だったので、学校でも学ぶ場を作ってほしい。
- 同様のテーマは常にアップデートが必要なので、定期的に詳しい情報を親子で共有する必要があると思った。
- 携帯毎(iPhone、アンドロイドなど)、アプリ毎の使い方・教え方など教えてほしい。

\*\*\*\*\*

## 尾上校長先生からメッセージをいただきましたので、ご紹介させていただきます。



コロナ禍のなかでも、家庭教育学級を実施いただきありがとうございます。  
取り上げていただいたご講演の内容は、GIGAスクール構想の実現に向けて世田谷区がこの11月以降、上級学年からタブレット配布を始めようとしている今、まさに必要かつタイムリーなものでした。ご教授いただいた情報や疑問点へのご回答などをフル活用しながら、子どもたちが安全にネット社会を生きていく術を身に付けていけるよう、学校とご家庭と一緒に考えていきたいと思っております。  
また、学校での子どもたちへの情報モラル教育の充実に向けた具体的な取り組みを計画していこうと考えております。  
今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*